

論文審査の結果の要旨

報告番号	甲 先 第 437号	氏 名	AYIGULI AINI
審査委員	主査 奥 嶋 政 嗣 副査 小 川 宏 樹 副査 山 中 英 生		
学位論文題目 Study on the Role of Taxi Subsidy Scheme for the Mobility of Elderly in Rural Areas (過疎地域における高齢者のモビリティ施策としてのタクシー補助制度の研究)			
審査結果の要旨 <p>過疎地域では、運転が困難な高齢者のモビリティを確保が大きな課題であり、オンデマンド乗合タクシーや自家用有償旅客運送などの交通サービスが導入されている。しかし、より低密度な地域では、こうした乗り合いサービスでは多様な移動ニーズに対応できず、輸送効率が十分でない状況となっている例が見られる。一方、タクシー補助金制度（TSS）は、年齢、運転免許、障がい、社会的背景などの条件に応じて対象を限定してチケットを配布し、タクシー料金を補助する制度で、過疎地域の地方公共団体の多くで導入されている。</p> <p>本研究は、TSSを補助金で支援する自治体、TSSによって経営が左右される中小タクシー事業者、高齢者の外出状況やTSSの利用状況といった3つの視点から、TSSについて分析を行っている。その上で、国の施策の動向を踏まえ、地方における高齢者の公共移動サービスとしてのTSSの有効活用を検討している。その結果、自治体にとっては、TSSは交通弱者支援や免許返納者支援として広く実施されており、住民の負担も大きな出費にならない。タクシー事業者の立場からは、TSSは経営に貢献しており、利用時間や助成対象者を増やしたいという事業者も少なくない。高齢者調査からは、TSS利用者は非利用者に比べ、様々な用途でタクシーを利用し、高い料金に影響されにくい。といった点が明らかになっている。その上で、TSSのターゲットユーザーを絞り込み、サービスを向上させることで、過疎地域における柔軟な「公共交通機関」となりえることを提案している。</p> <p>以上、本研究は、過疎化、高齢化に伴う生活交通支援に対して、新たな発見とあり方、解決策を提示しており、本論文は博士（工学）の学位授与に値するものと判定する。なお、本論文の審査には、渡辺公次郎准教授の協力を得た。</p>			